

【活動テーマ/テーマ設定背景】

- テーマ：身の回りにあるかがくってなんだろう？
- 設定背景：日常の中にある現象に対して、「なんで？」と思うことが増えてきた子どもたち。以前行った空気の不思議について、身近な「風船」を題材に、空気を“見る”ことで、さらに違った気づきを促す活動を行った。

【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

3mほどの長さのビニール袋、小さなビニール袋、卓上扇風機

【活動内容/お子さまの声や姿や保育者との関わり】

長いビニール袋を使って「どうやったら膨らむかな？」という問いかけに対し、子どもたちは一生懸命に口で息を吹き込んだり、ビニール袋を振ってみたりと工夫を凝らす姿が見られた。試行錯誤の中で、うちわを使ってみたり、園にある卓上扇風機を使ってみたり、空気の流れを発生させる方法をたくさん考えている様子だった。

また、大きく膨らんだビニール袋を子ども達が持ち上げて「おおきいのに軽い！」という発見や、「乗ったらどうなるかな？」の問いかけに対して「割れちゃうんじゃない？」と言いながら乗っても割れないことを体験し、“空気の不思議”についてより関心を深めた活動となった。



【振り返りをふまえた気づき】

●振り返りによって得た先生の気づき

大きく膨らんだビニール袋を全員で持ち、軽さに驚いていた。

全員で膨らんだビニール袋に乗る際には、「割れないかな」と緊張しながらも、割れない事が分かると感触を味わい弾む様子を存分に楽しむ事が出来た。

風船遊びの際に「これは割れちゃうかな？」と恐る恐る乗ろうとする姿が見られている。